

平成28年度補正予算案及び 平成29年度概算要求における 宇宙開発利用関係予算について (省庁別集計)

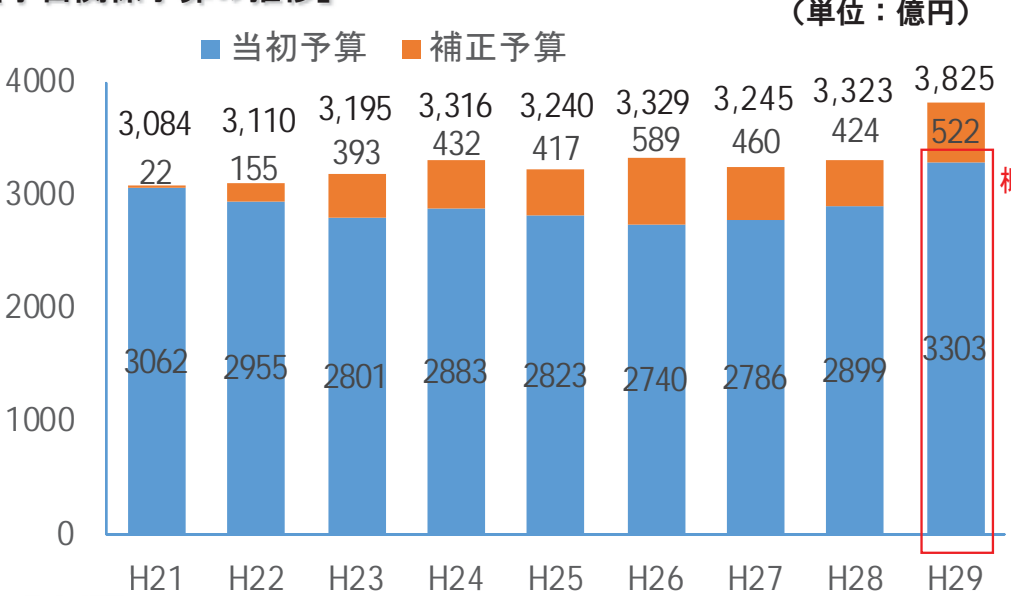
平成28年9月
内閣府宇宙開発戦略推進事務局

平成29年度概算要求における宇宙関係予算

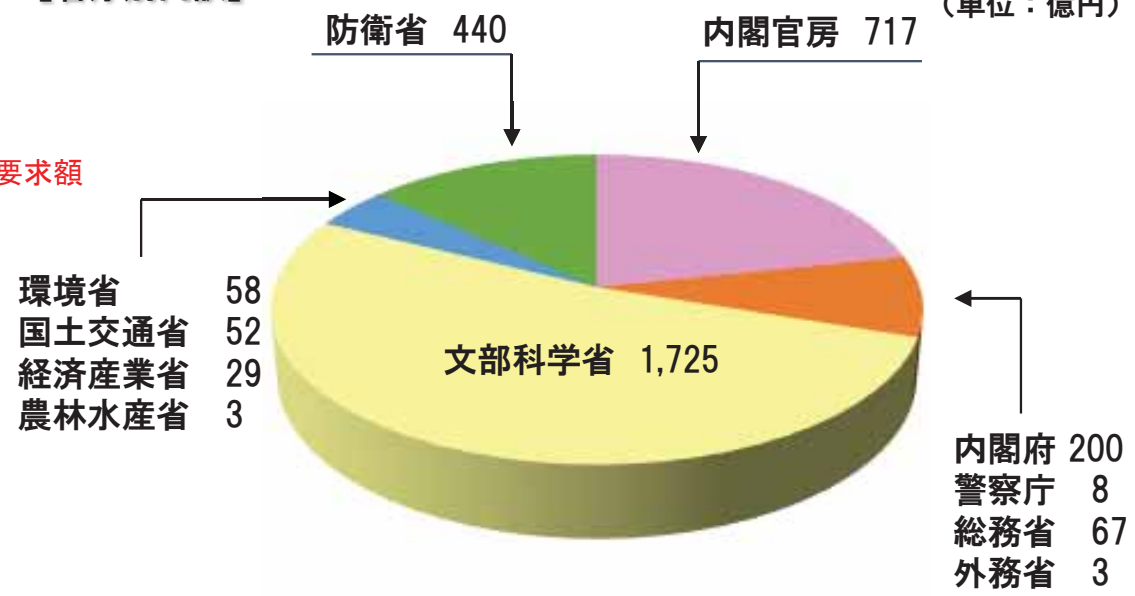
[全府省]

平成29年度概算要求総額 **3,303億円** (平成28年度当初予算比404億円増(13.9%増))
 (要求額2,548億円+優先課題推進枠754億円)

[宇宙関係予算の推移]



[省庁別内訳]



[内訳]

府省名	平成28年度当初予算額 ①	平成29年度概算要求				対前年度増▲減 ④-①	(増▲減比)
		要求額 ②	優先課題推進枠 ③	概算要求総額 (④=②+③)	対前年度増▲減 ④-①		
内閣官房	619	557	160	717	98	(15.9%)	
内閣府	152	132	68	200	48	(31.2%)	
警察庁	12	8	0	8	▲3	(▲29.8%)	
総務省	60	57	10	67	7	(11.7%)	
外務省	3	3	0	3	1	(28.0%)	
文部科学省	1,524	1,323	401	1,725	201	(13.2%)	
農林水産省	2	3	0	3	1	(67.8%)	
経済産業省	30	20	9	29	▲1	(▲3.7%)	
国土交通省	102	51	1	52	▲50	(▲49.0%)	
環境省	57	51	7	58	2	(2.7%)	
防衛省	340	342	98	440	101	(29.7%)	
合計	2,899	2,548	754	3,303	404	(13.9%)	

(参考)	
平成28年度補正予算案 ⑤	平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求 ⑥=④+⑤
175	892
44	244
	8
1	67
	3
280	2,004
	3
23	52
	52
	58
	440
522	3,825

(単位: 億円)

(参考)
 (平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求)
 ÷ (平成28年度当初予算額) ≒ 31.9%増
 (平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求)
 ÷ (平成27年度補正予算額+平成28年度当初予算額) ≒ 15.1%増

(四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない)
 (財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算している)

平成28年度補正予算案（宇宙関係予算）【各府省の施策】

全府省合計 522億円

(百万円)

【内閣官房】	17,467	【文部科学省】	27,954
○情報収集衛星関係経費	17,467	○H3ロケット	12,171
		○光データ中継衛星	4,319
【内閣府】	4,438	○先進レーダ衛星	815
○準天頂衛星システムの開発・整備・運用	4,400	○次期技術試験衛星	715
○中央防災無線網の整備	38	○宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	5,400
		○施設整備費等	4,534
【総務省】	50		
○豪州の農業分野における準天頂衛星の活用の包括的実証	50		
【経済産業省】	2,300		
○超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	2,300		

各府省庁予算の単位は百万円。内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

平成29年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,303億円

(百万円)

【内閣官房】	71,718	(+9,848)	【農林水産省】	319	(+129)
●情報収集衛星関係経費	71,718	(+9,848)	●農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	9	(▲11)
【内閣府】	19,989	(+4,755)	○農林水産施策における衛星測位技術の活用	310	(+140)
●準天頂衛星システムの開発・整備・運用	18,883	(+4,422)	【経済産業省】	2,930	(▲111)
○中央防災無線網の整備・維持管理等	126	(▲35)	●超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	250	(▲250)
○宇宙利用拡大の調査研究	530	(+214)	●宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	350	(+0)
●戦略的イノベーション推進プログラム(SIP)	50,000の内数	(50,000の内数)	○石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発事業費	1300	(+150)
【警察庁】	811	(▲344)	○宇宙太陽光発電における無線送受電技術の高効率化に向けた研究開発事業委託費	250	(+0)
○高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星の使用等	811	(▲344)	【国土交通省】	5,206	(▲5,000)
【総務省】	6,655	(+695)	○3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	59	(+14)
○海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	81	(+0)	●高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	106	(+14)
●Ka帯広帯域デジタルビームフォーミング機能による周波数利用高効率化技術の研究開発	950	(新規)	●G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討	123	(+41)
○全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8	(+0)	○静止気象衛星業務等	3,744	(▲4,499)
○地域衛星通信ネットワークの利用	18	(+0)	○準天頂衛星を利用した航空用の衛星航法システム(SBAS)による測位補強サービスの実現	309	(+60)
【外務省】	331	(+72)	【環境省】	5,823	(+154)
○衛星画像判読分析支援	308	(+63)	●温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)シリーズによる地球環境観測事業等	4,645	(+180)
○戦略的宇宙外交の推進	23	(+9)	●衛星による地球環境観測経費	1,016	(▲25)
【文部科学省】	172,464	(+20,078)	【防衛省】	44,030	(+10,079)
●H3ロケット	25,783	(+12,261)	●宇宙監視に係る取組	132	(▲62)
●先進光学衛星	2,382	(+2,382)	●衛星通信、商用画像衛星の利用等	42,815	(+10,142)
●光データ中継衛星	2,652	(+2,627)	●宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究等	1,073	(▲2)
●先進レーダ衛星	1,374	(+1,274)			
●次期技術試験衛星	1,198	(+734)			
●宇宙状況把握(SSA)システム	1,876	(+870)			
●小型月着陸実証機(SLIM)	6,000	(+3,703)			
●X線天文衛星代替機	3,900	(新規)			
●宇宙ステーション補給機「こうのとりのとり」(HTV)	21,755	(▲2,047)			
●新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	3,694	(+1,736)			

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。

内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。

●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。